



川崎・多摩丘陵の里山を守る会
熊野森トラスト

2005年 春号

事務局 伊中

Tn&Fax044-866-7005

熊野森に暮らして

岡田修一郎

たいなと感じました。

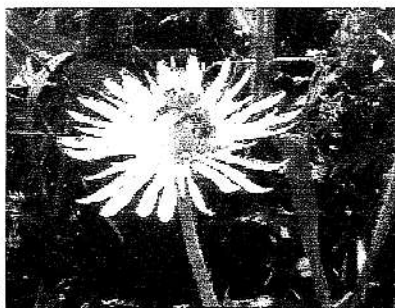
高層ビルの林立する都心から、高津区の熊野森に新しく建設されたマンションセブンフォレストヒルに私たち夫婦が引越してきたのは2003年の3月末。住む場所は、夜帰って「眠るだけの場所」ではなく日々「暮らす場所」にしたいという思いから辿りついたのが、この緑あふれる熊野森でした。新しい部屋から外を見ると、周囲を取り巻く丘には緑が多く残り、緑の間から満開の桜が彩を添えている様子がまるで新生活を迎えてくれるかのようで、この風景をいつまでも大切にしたいなと感じました。



暮らし初めて周囲を散策してみると、提供公園の近くには比較的大きな木が残っていること、メイプルコート奥にはターザンの木とよばれる大きなスダジイがひっそりと佇んでいること、また堂坂とよばれる坂の爽やかな竹林の存在など緑の豊かさを実感しました。またマンションの掲示板で見た里山の会の植物の観察会に参加することで、思いがけず熊野森には多くの植物が存在していることを知りました。

その一方で、私たちの住んでいる熊野森を含めた高津区の緑は、予想以上に開発が進み失われつつあるということを知り、何とかならないものかという思いをもつようになりました。しかしながら、自らが住むセブンフォレストヒルは、熊野森を大きく削って開発された大規模マンションです。マンションの建設にあたり、熊野森を守るための反対運動が起こっていたことも何となくは知っていました。緑の森を削って作ったマンションの住人が、緑を大切にしたいと言っているのは果たしていかなものだろうと当初は感じてはいたものの、それ以上に現実の状況を知らなければ、自らが暮らす周囲の環境やそこで起こっていることに関心を持ち、そして自らが何かをしない限りは、ただただ緑は失われていくだけだと今では強く感じています。

発計画が進んだことで、ターザンの木は残ったものの木を取り囲むひんやりとした静けさを味わうことはもう出来ません。この春はターザンの木の奥の小さな原っぱでつくしを見つけていることもないでしょう。その奥に続く林を散策することや、メイプルコート奥に茂る木々の間から差し込む朝日を見ることももうできません。そして部屋からは見える緑は確実に減り、丘はむき出しとなり新しい建物が立ち並びつつあります。たった10年の間でセブンフォレストを囲む風景はこんなにも変わってしまった。これが緑を求めて熊野森にやって来た私たちが直面している現実です。



市や区などの行政、企業、この地域に住む地権者の方などさまざまな立場をもつ方々が関わりつつ熊野森を含めたこの地域の開発は今後も進んでいくことと思います。それぞれの方々の立場を踏まえつつ、自らはこの地域で暮らす住人として何を望むか、そのために何ができるか今後とも考えてゆきたいと思っています。

おい、八つあん。見たかい、この新聞。

見たとも、見たとも、熊さん横浜市だろう。いいねえ、うらやましいねえ。

なんでも、今まで市街地に残る身近な小規模樹林地は、法制度上、保全策がなかったんだってさ。

ほお。市民発意による、身近な小規模樹林地の保全活動を、支援する仕組みだそう。

じゃあなにかい。うちの裏に林があったとするだろ。次々にマンションが建っていく中、たまたま残った1000㎡とか、2000㎡の猫のひたい林には、すずめ・しじゅうから・めじろやらが、えさ場やねぐらにしている。

人間にだって、この猫のひたい林からぬけてくる風が結構涼しいし、

第一見た目に気持ちがいいやね。そういう場合、市に相談してみろってことだな。

そおよ八つあん、1000㎡から5000㎡が対象だつてよ。5000㎡といやあ犬のひたいじゃねえか。

市が審査決定したら、いよいよ募金活動でい。

一割達成できたら、市が協働の森基金から支出して、買ってくれるってことよ。

張り合いがあるつてもんじゃあねえか。おおつと、うちは川崎市だった。川崎はどうなってる？



小さな林残そう

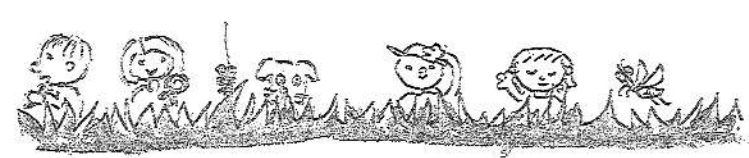
横浜市は、市街地に残る身近な小規模樹林地を保全するために、土壌改良剤の取付や、土壌改良剤の取付を補助するなどの取組を行っています。取組が、市街地に残る身近な小規模樹林地を保全するために、土壌改良剤の取付を補助するなどの取組を行っています。

買い取り基金 横浜市設置へ

横浜市は、市街地に残る身近な小規模樹林地を保全するために、土壌改良剤の取付を補助するなどの取組を行っています。取組が、市街地に残る身近な小規模樹林地を保全するために、土壌改良剤の取付を補助するなどの取組を行っています。

買い取り基金 横浜市設置へ

横浜市は、市街地に残る身近な小規模樹林地を保全するために、土壌改良剤の取付を補助するなどの取組を行っています。取組が、市街地に残る身近な小規模樹林地を保全するために、土壌改良剤の取付を補助するなどの取組を行っています。



春の植物観察会のご案内いたします

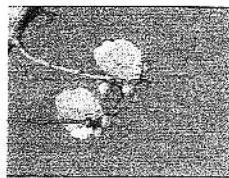
高橋英先生と熊の森緑地を歩いて、春の植物を観察、調査します。去年の調査では、65科150種の植物を確認しました。今年はどうでしょうか？去年と同じものに出会えるのか、新しい発見はあるのか、とても楽しみです。

春の里山を歩く

4月24日(日) 10時 久保台公園・ターザンの木・熊の森緑地
雨天の時は5月8日(日)に順延 参加費は300円



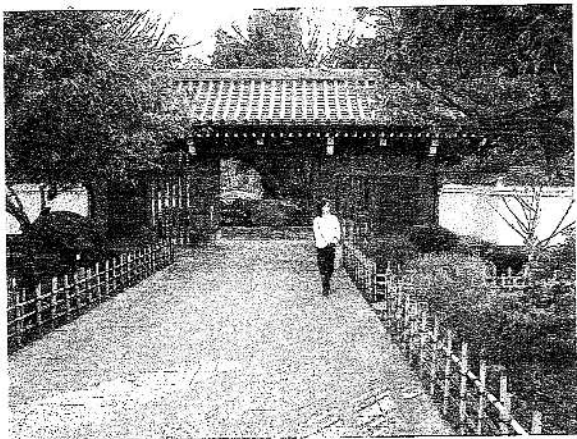
品川区の公園散策



旧岡家跡地を公園に整備するにあたり、公園緑地課主催によるワークショップが近々開かれます。私たちは2月22日、品川区豊町にある戸越公園と北品川にある聖跡公園を散策し、旧岡家跡地が多くの住民が利用しやすい公園となるよう何を提案したらよいか考えました。

戸越公園は、大井町線戸越公園から約5分の豊町にあり、肥後国熊本県藩主細川家の屋敷跡の庭園を利用して造られた公園です。池を中心に溪谷や滝、築山があります。私たちが注目したのは、パブル期に建ち築年数は浅いが薬医門があることです。薬医門をくぐると、かつての大名屋敷を訪れる気分になります。公園に門があると、それだけで風格がでて、日本庭園が一段と引き立ちます。おもしろいことに、ゴミ箱、雨水枡の蓋は木製、竹製で、「一和」の雰囲気にあうようデザインされていました。

旧岡家跡地には江戸時代建築の薬医門があるので、本当に川崎市民の宝として愛して大切にしたいです。



聖跡公園の正門は、旧東海道にし、品川宿本陣跡と記されています。公園の中は明治天皇の行幸の記念碑があります。トイレは蔵風の造りで、宿場であつた趣があります。通りに面して人々の目があり、男女別に一つずつあります。通りとの境は竹垣で、公園の見通しが良く、防犯上もとてもよいと思いました。

ブランコには古風な屋根があり、遊具からも江戸時代を偲ばせる工夫がしてあります。こんな遊具なら、旧岡家跡地の板塀や蔵ともなじみ、江戸時代を思い浮かべさせる庭にも似合うと思えました。この散策を参考に充実したワークショップにしたいものです。(田中郁子)

花見の会

岡家跡地にて

春の訪れが、うつつら残る2月の雪の下から草の芽木の芽と、かわいい顔をもたげはじめています。梅の花が咲き匂い、もうすぐ花の真つ盛りとなることでしょう。

今年の花見の会は、川崎市が買い取り、「久本薬医門公園」という名の公園になることが決まった旧岡家跡地にて開催する予定です。

3月26日(土) 2時〜4時まで。
陶芸のグループや、竹細工のデモンストレーションがあり、自分で作ることも参加できます。緑を保全する市民活動のアピールもあり、高津市民合唱団による春の歌のミニコンサートもあります。

普段は、門を閉めて中が見られない庭ですが、当日は2百年の歴史のある庭の趣をご覧ください。門の脇にある枝垂桜が、その日、見事な花を築ませてくれることを期待して、皆様のおいでをお待ちします。

場所：溝の口駅下車、洗足学園方向久本踏み切り右折、野川柿生線に面す。久本1丁目5-481番地

春の植物観察会

これからの予定



4月24日(日) 午前10時集合：
末長久保台公園〜末長熊野森緑地
◆ 里山活動 毎月第3日曜日
朝10時 末長久保台公園集合



募集
年会費(8月から翌7月まで)2000円の振込みを
郵便局でお願いします。
口座番号 00270-1-53171
加入者名 多摩丘陵の里山を守る会

基金のお願い(積みたてます)
一口3000円以上、高校生以下1000円です。
口座番号 00280-2-53172
加入者名 久本山・熊野森ナショナルトラスト

事務局連絡先 伊中 悦子
TEL&FAX 044-866-7005

「ターザンの木」

と小学生

現在建築工事中のマンシヨンの提

供公園として、「ターザンの木」は保全されることになりました。この木を久本小学校の5年生が、見に来ましたが、近づくことができないのでその後川崎市公園緑地課から施工業者に頼んで入れてもらいました。

これから工事が終わるまで、あと2年間、木にふれることはできそうもありません。

次に、小学生からのこれまでのメールを抜粋して、お知らせします。

16年10月

はじめまして。久本小学校5年生です。今、クラスで「皆に伝えたい」というテーマの番組制作をしています。私たちグループが、相談したところ、「ターザンの木を調べてみたい!」という意見で、「ターザンの木」について番組を作ることになりました。

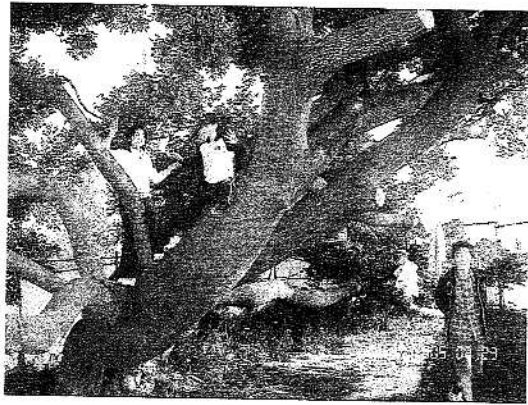
16年11月

緑があると、気持ちいいですね。森に入ると、良い匂いというか、鼻が

スースーして気持ちくなります!ただ、ここには、あまり緑がなく、今では、皆と外で遊ぶといっても、コンクリートの上で遊んでいます。私は、土の方が好きですから…。ターザンの木といっぱい触れ合いたいです。(見てみたい、遊んでみたいなど)

16年12月

番組制作は順調に進んでおります。工事は、道路を作っているらしいですね。うまくターザンの木をさけてつくってみたいです。ほっと安心しました。みんなターザンの木を楽しみにしています。



17年2月

今日はどうもありがとうございました。みんなも、会う前に、少し緊張さ

みな様子でした。けど、ターザンの木を見て、思わず緊張がとれたんだと思います!よかったです!本当にターザンの木についてのお話ありがとうございました!

でも、それが2年たつてから!という、私たちは、中学2年生!!!なので、久本小の全学年の人たちに伝え、今の、2年生の子達ぐらいに、ターザンの木を見てもらいたいです!

里山活動だより



毎月第三日曜日に行っている里山活動、少しは地域に知られて来たでしょうか。

活動目近くには、お誘いのチラシを公園の入り口に掲示したり、近隣に配布したり、マンシヨン内の掲示板に貼ってもらったりしています。

活動場所は主に、集合場所の末長久保台公園、熊野森緑地です。現在は工事中ですが、ターザンの木周辺、そして久本の旧岡家跡地などです。

草刈やゴミ拾い、落ち葉を集めて堆肥作り、木の整枝や剪定も出来る範囲でやっています。

寒い時期より、暑さとの戦いの中の夏場の作業が一番大変です。草木の成長も著しく、特に熊野森緑地は活動日以外にも、中一、二回は何人かで申し合わせて草刈作業をやります。額に吹き出る汗を拭きながら、わずかな風を感じて、ほっと一息ついた時のあの爽快感。そして作業後の仲間との楽しい会話。きつと、あれが、里山活動の魅力なのでしょう。

一昨年より、公園や緑地に花などを植える活動をしてきていますが、昨年末は、高津区まちづくり協議会より、高津区の花と木である水仙と梅の苗木をもらい、会員で大切に植えました。そのまだ小さな梅の木に、この二月まるでかんざしを思わせるように、かわいい花が咲きました。

スイセンの方は、まだもう少し御預けですが、近い内に、咲き匂う事でしょう。

これから、暖かくなり、活動もやり易いシーズンに入ります。木が芽吹き、春の草花も咲き始めます。小鳥のさえずりや風の音、自然の中に身を置いて、ゆったり楽しく、一緒に作業をしませんか。ご参加をお待ちしています。

(草井綾子)